

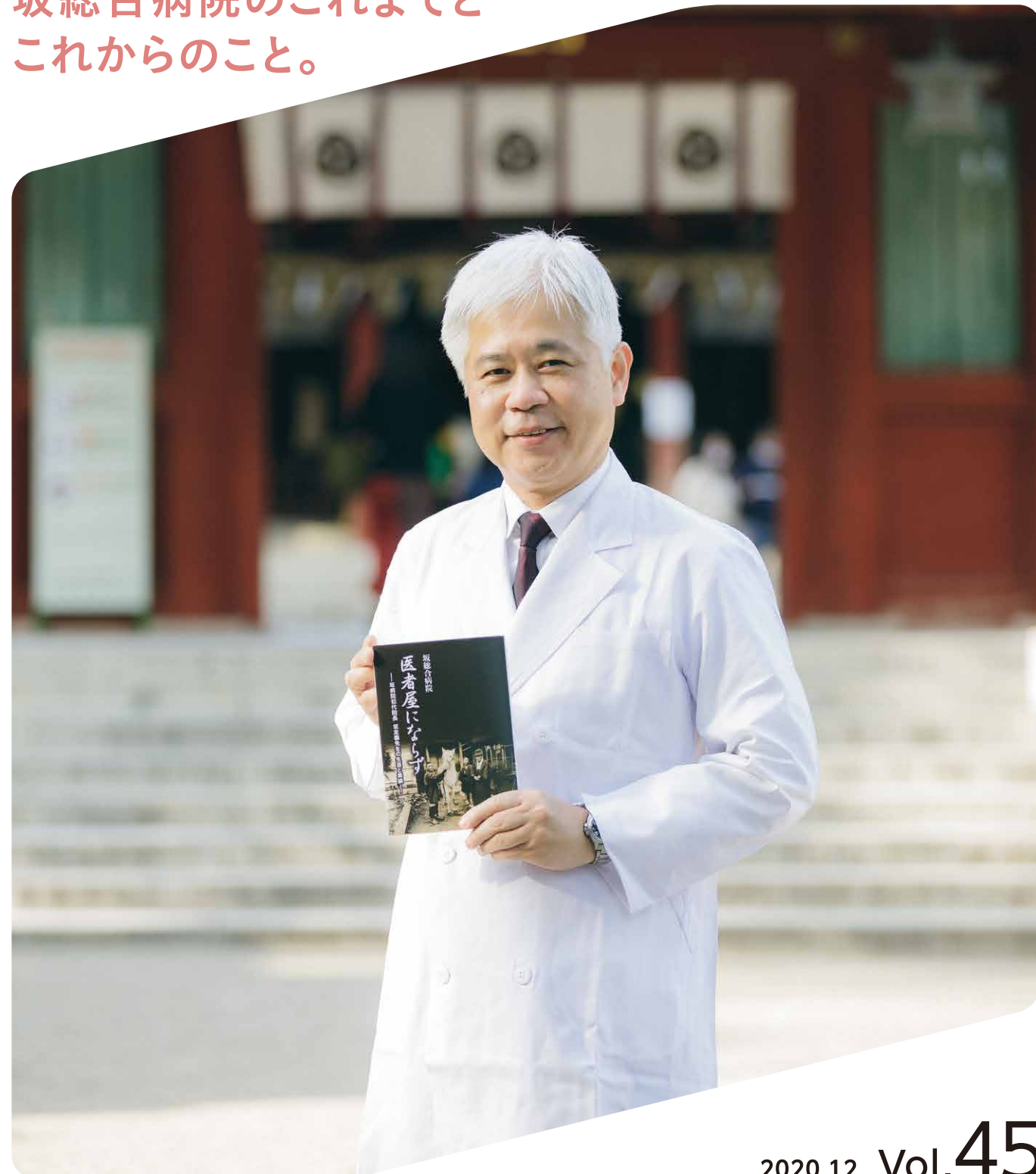
SAKASO

「さかそう」

ご自由にお持ちください

特集 先生に聞いてみよう

坂総合病院のこれまでと
これからのこと。



2020.12 Vol.45

お知らせ

初代院長についてまとめた書籍「医者屋にならず」が発売中です



今年8月、当院の初代院長である坂 定義(1866～1937)の生涯と業績を紹介する書籍「医者屋にならず」を出版しました。

全8章で構成されたこの本。戊辰戦争後の幼年時代から軍医を経て塩釜で開業し地域医療に力を注いだ半生に加え、塩釜町社会事業協会の会長として貧困救済事業にも取り組んだ、ひとりの医師の生涯をまとめています。

書籍はA5判で全148ページ、価格は1,100円(税込)。下記の書店で販売中です。

【取扱店舗】

● 嶋屋書店

〒985-0021 塩竈市尾島町1-10 Tel 022-362-3226

● ブックスなにわ多賀城店 (JR仙石線 本塩釜駅前)

〒985-0874 多賀城市八幡1-2-34 Tel 022-393-7227

診療予約・変更・お問合せ

まずはコールセンターへお電話いただき
ご確認をお願いいたします。

コールセンター 022-361-8288

- 平日 8:30～16:30(小児科のみ8:00～)
- 土曜 8:30～11:30(小児科のみ8:00～)

※日曜・祝祭日、年末年始(12/30～翌年1/3)、8/16(お盆)は休業。

- ◎紹介状をお持ちの方は、必ずその旨をお伝えください。
- ◎上記時間以外で救急診療のお問合せは、病院代表番号(022-365-5175)にお電話をお願いします。

詳細はwebサイトでもご確認いただけます。

坂病院 🔍 検索 <https://www.m-kousei.com/saka/>

表紙について

今号は満を持して富山新院長にインタビュー。
表紙は塩竈を代表する場所で撮影しました。
荘厳な雰囲気の中で映える、院長の柔和な笑顔が印象的です。

●表紙撮影／志波彦神社 塩竈神社



電車の場合 ▶ JR仙石線・下馬駅下車。駅前が当病院です。

お車の場合 ▶ 第三駐車場は、当院ご利用の方は無料です。
第三駐車場と病院間の送迎バスを運行しています。

SAKASO

坂総合病院 広報誌「さかそう」
2020年12月1日発行

公益財団法人宮城厚生協会
坂総合病院

〒985-8506 宮城県塩釜市錦町16-5 <https://www.m-kousei.com/saka/>
【広報誌に関するお問合せ】Tel 022-365-5175(代)



.....
毎回特集内容を変え、
病気や病院のあれこれを発信。
今回は、「坂総合病院の今と
これから」をご紹介します。

特集

先生に
聞いてみよう

坂総合病院の これまでとこれから のこと。



塩釜市を中心に地域の
医療を支える坂総合病院。
適切な治療と高度な技術で
人々を支えています。
今回は、富山陽介院長に
現在、そしてこれからの
坂総合病院のあり方につ
いて聞きました。

富山 陽介（とみやま ようすけ）

鹿児島県出身。東北大学医学部卒業後に坂総合病院へ入職。リハビリ診療部長・副院長を経て、2020年4月、坂総合病院 院長に就任した。院長という立場にありながら今でもリハビリや在宅医療での診察を定期的に続け、患者さんとの触れ合いを欠かさない。

これまでの病院を 守り、育てていく

新型コロナウイルス感染症への対応に病院全体が奔走した4月に院長に就任。慌ただしさの中でスタートになりました。院長という立場の責任の大きさを感じる日々を過ごしています。院長になり、自分の個性を出さなければ、というよりも、引き継ぎ、守り、発展させるという感覚が強いです。私は内藤前院長が打ち出したやりがいのある職場作りや職員満足度を重視する施策に共感してきました。また「医者屋にならず」（裏表紙「お知らせ」

で紹介）に書かれている初代・坂定義院長の社会的弱者へのまなざしを基本的価値観として引き継ぎたいと考えています。その上で、地域の皆さまから信頼される急性期病院として坂総合病院が発展していくことに寄与したいと願っています。

昔も今も、これからも 心の距離が近い病院

坂総合病院はこれまで、「社会的・経済的に問題を抱える人こそ医療を届けたい」という想いを大切にしてきました。そして、病院にはそうした想いに共鳴した医師が大勢います。当院の一番の強みは、その価値観とともにする仲間がいること。これまでと同じように、心理的にも地域の方から近い病院であり続けたい。そして総合病院として大きな規模ではあるけれど、『坂さん』に**いけば必ず誰かが相談に乗ってくれる**、**と思うてもらえる存在であり続けたい**と思いますね。地域の方々からの信頼には、高い専門性や確かな医療技術が絶対に

必要です。そのために職員は日々学ぶことが求められます。そしてしっかり学べば学ぶほど、分かりやすい説明もできるようになります。職員の対応に親しみと安心を感じてもらえれば、それは私たちの喜びです。私たちにやりがいを与えてくださるのは地域の方々だと思っています。

患者さんの生活にまで 手を差し伸べる

私たちが患者さんと接するうえで、病気を視ることは何より大切です。しかしその患者さんの経済的、また家族的背景を無視して一人ひとりと向き合うことはしません。誰と暮らしているのか、収入はどれくらいなのかなど、その人の背景までしっかり見つめることも大切になっています。今、当院には7人の医療ソーシャルワーカーがいます。多くの医師がこの医療ソーシャルワーカーと協力して困っている人のため**八方に手を尽くす**という経験をしています。それが地域の医師としての自覚であり、地域医療というの

職員の成長と 地域との共同

これからは、スタッフのために働く環境の改善にも力を入れたいですね。現場の意見を吸い上げながら、自分はチャレンジできる環境にいると自覚できる場をつくることが目標です。そして今、医療だけでなくビジネススキルまでもサポートできるような教育環境について話し合っているところです。いきいきと働く職員こそが病院の財産です。私たちの病院には「友の会」という組織もあります。病院にとって地域を知る大切な窓口です。「友の会」の方々と交流も大切にしたいですね。また、近隣の医療機関や介護施設との連携も深まっています。患者さんをみんなで連携しながら支えるという時代になっていることを実感しています。地域の安心を支えるために、地域の方々とともに多くの問題を語り合える関係になれたらいいと思います。

—— 専門性を高めつつ、“よろず相談所”にもなり得る場所に ——



#3 どうする？インフルエンザ対策

高山 綾子 (たかやま あやこ) / 感染制御実践看護師

Q

新型コロナウイルス感染症の対策をしていれば、インフルエンザの対策も十分といえるのでしょうか？



A

どんな感染症も100%防ぐことはできません。また新型コロナウイルス感染症とインフルエンザはともに発熱、咳、咽頭痛、鼻汁などの風邪症状が出現しやすいため、どちらか自己判断することは難しく危険です。発熱、風邪症状がある時は、まずはかかりつけ医に連絡を！マスクの着用や咳エチケット、手洗い、十分な睡眠などの対策もお忘れなく。



栄養手帖 ■■ -食養室だより-

冬野菜を食べよう！

冬に旬を迎える根菜や葉野菜。
身体にいい効果が満載な、季節の味わいを楽しみましょう。

冬野菜は、甘くておいしく・身体を温める効果あり！

白菜、レンコン、大根、ホウレン草、ネギ、ブロッコリーに代表される冬野菜。甘くておいしいのは、寒さで霜が降りると野菜がその寒さから身を守ろうと糖分を増やすため。さらに毛細血管の機能を保持するビタミンCと血行を良くするビタミンEの働きにより身体を温める効果があります。



冬野菜の上手な食べ方

- 野菜にはビタミンCのような水溶性の成分があります。スープなどで上手に摂取しましょう。
- ネギやニンニク、ショウガは、血行促進や新陳代謝を高めるだけでなく風邪予防にも効果あり！



支えるひとたち



第17回 事務員(医局事務)

「人の役に立つ仕事がしたい」という思いが強い今野さん。医局事務の現場では研修医たちの教育の場でもある「研修医会」の準備・運営、日直の調整という大切な役割を担っています。「日直とは、医師の夜勤当番のこと。この当番表を埋めないと24時間365日の医療体制が成立しないため、何とかせねば...」という気持ちになります。医師たちを支える中で、医師の体調のことも案じています。命と向き合う重症の大きな仕事に加えて長い時間働いている医師を見て、「何もしゃべられない」と歯痒さすら感じるそうです。だからこそ今は「医師が働きやすい環境をつくっていききたい」と語ります。「医師が気持ちよく働けたら、病院全体が元気になるんじゃないかな。医師の労働環境をより健康的にするために何ができるのか、職員みんなで考えたいですね」

坂総合病院を、そして患者さんを支える人々。その「人となり」に迫ります。

次号は

佐藤 司
(みやぎ東部健康福祉
友の会会長)



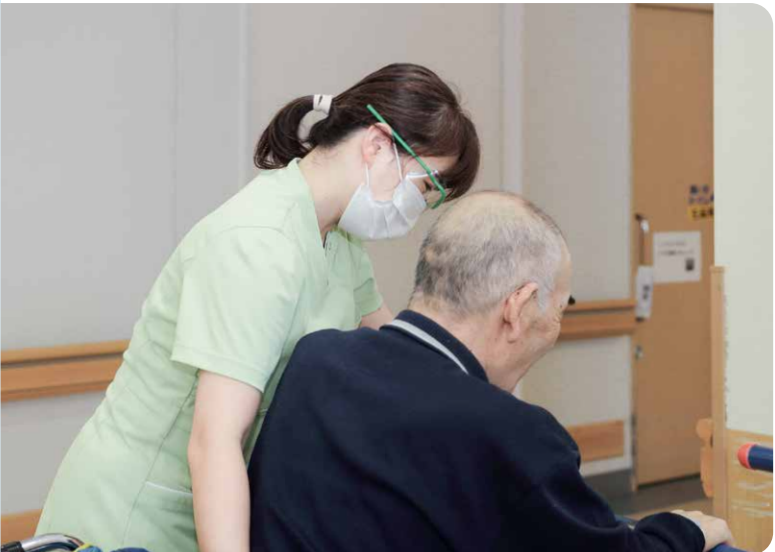
後輩への指導を丁寧にすることも、自分にとって大切なポリシーだと話す今野さん。会議中も相手と向き合い、じっくり話し込む姿が印象的です。



今野 拓自 (こんの たくじ)
事務員(医局事務)

田中 飛鳥 (たなか あすか)
師長

塩釜市を中心とした地域で唯一の回復期リハビリテーション病棟です。運動器・脳血管疾患がある患者さんの家庭・社会復帰に向けた食事・排泄・入浴動作などの向上を目的に、患者さんができることを最大限に活かせるような看護・介護を提供しています。日々の入院生活もリハビリの一環。まずはベッドから離れることをス



タートに、患者さんの段階・能力に合わせて医師や病棟スタッフ、セラピスト、相談員、栄養士などが連携して支えます。これまでにたくさんの患者さんにお会いしましたが、こんな印象的なエピソードがあります。入院を機に大好きな洋服も髪型も楽しめなくなったと嘆いていた女性の患者さん。熱心にリハビリに励み、その後無事に退院。後日、近所のスーパーで声をかけられ振り向くと、そこにはにつりと笑う「金髪」の彼女が……その姿は、ひとつの目的達成のためにリハビリを頑張った賜物でした。

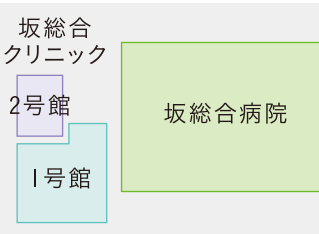
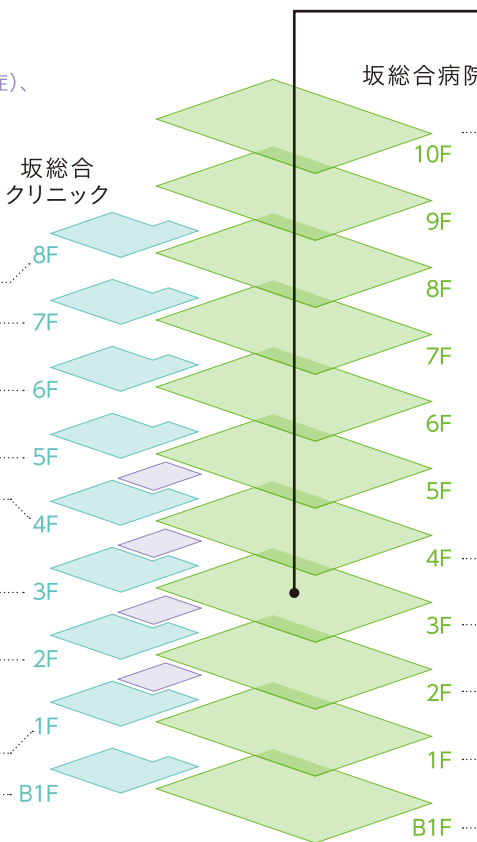
リハビリには時間がかかり、入院も長期となるため病棟レクリエーションにも力を入れています。現在は新型コロナウイルス感染症の影響でその規模を縮小せざるを得ませんが、少しでも患者さんに楽しんでもらえるように、そして少しでも楽しくリハビリできるように工夫を取り入れていきたいです。

2号館

- 4F 外来(小児科)、事務室、心理室
- 3F 外来(循環器科、糖尿病、漢方、高脂血症)、食事相談室
- 2F 外来(内科、呼吸器科、心臓血管外科)
- 1F 受付・会計、処置室、検査室、放射線室

1号館

- 8F 図書室、会議室、資料室
- 7F デイケア室、介護保険室
- 6F 運動療法センター、クリニック所長室、クリニック看護部長室、クリニック事務長室
- 5F 事務局長室、看護部長室、広報室
- 4F 医局、院長室、副院長室
- 3F 患者さま図書室、友の会室、組織課、健康管理室(健診科)、患者教室、宮城県厚生協会本部事務局、総務
- 2F 外来(耳鼻科、形成外科、産婦人科、眼科)、化学療法センター
- 1F 外来(外科、泌尿器科、皮膚科、整形外科、腎臓内科)、在宅医療室、処置室、受付・会計、相談室
- B1F 中央検査室、物流センター、施設サービス課



- 病室(4～10F)
- 回復期リハビリテーションユニット
- 手術室、ICU、臨床検査室、血管造影室、病理部、薬局、高圧酸素室、ME室、カンファレンス室、公開型図書室、セミナールーム、応接室、地域医療教育ステーション
- 総合案内、受付、会計、診察室、処置室、救急処置室、救急病棟、リハビリテーション室、放射線室、読影室、生理検査室、内視鏡室、地域医療連携センター、事務室(診療サービス課・中央病歴室)、売店
- 食堂室、RI検査室、霊安室

連携医のご紹介

よねち内科クリニック

[内科、消化器内科、循環器科、呼吸器内科]



院長
米地 真 先生
(よねち まこと)



内科、消化器内科、循環器科、呼吸器内科
よねち内科クリニック

〒985-0853
多賀城市高橋4-14-6
TEL 022-389-1760
URL <https://yonechi-naika.com/>

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
8:30 - 12:00	○	○	○	○	○	○	○
14:30 - 17:30	○	○	○	△	○	△	○

休診日／祝日(この他、臨時休診あり)
※日曜は検査日(要予約)



地域に開けたクリニックを引き継いで

尊敬する井筒憲二先生から「いづつ内科循環器科」を承継し、このクリニックを開業しました。受け継ぐうえで大切にしたのは、クリニックとしての継続性。その心を汲んでくれたのか、残っていたいづつ内科循環器科のスタッフのおかげで診療を続けられています。

開業して改めて感じるのは病診連携の大切さです。坂総合病院の先生たちと患者さんについてやりとりをしていると、診療情報提供書がわかりやすく暖かいのです。以前は救急外来を利用した患者さんが当院のかかりつけだと

わかん、そのあらしをお手紙にして送ってくれました。きつ、こうした病院の文化や伝統が大切なのでしうね。

最後に少しアピールを。現在、腹部エコーと内視鏡検査に対応できる体制を作りました。出来るだけ苦痛のない検査を心がけ、経鼻内視鏡や鎮静剤下の内視鏡検査も導入しています。日曜日の午前中にも検査を行っているの、働く世代の人も検査を受けやすいはず。坂総合病院の職員の方も自院を受診できないときにはぜひご利用ください。これからどうぞよろしくお願いし

坂総合病院から

米地先生からは多くの患者さんをご紹介いただいています。いつも丁寧かつ適切なタイミングで連絡をくださるので、連携スタッフ一同感謝しています。クリニックでは苦痛の少ない検査を心がけているということも、先生の人柄が表れていると思います。これからもよろしくお願いいた